

今月の
テーマ

三大資金(住宅・教育・老後)の 「見える化」を

今月号は、三大資金の一つとも言える「教育資金」を考えることにするが、その中でも大学等への進学となると、かかる費用の桁が変わってくるだけに事前の準備が必要となってくる。一口に大学進学とはいっても、その態様によってかかる費用は大きく異なってくる。「国公立か私立か」「理系(医療系)か文系か」「4年制か短大か」「自宅通学か県外か」などによって大きく異なり、私立の医療系ともなると驚くばかりだ。秋田県の子供たちは学力的に優秀な成績と言われながら、その進学率は全国的にみてかなり低い。その要因はどこにあるのだろうか…。学びに対する高い志がありながらも、もし、その原因が経済的な理由であるとすれば憂うべきことだ。最近、「ACジャパン」のテレビCMで、人生のスタートラインを陸上競技に例えたCMが度々放送されている。実に考えさせられるCMである。皮肉にも、某テレビ局のスポンサーCMが減少したことで、放映回数が増えている。「スタートライン(支援キャンペーン)」をタイトルとして、制作・放送の背景には次の団体やメディアが関与している。

●支援団体:キッズドア ●広告会社:読売広告社

●掲載メディア:テレビ/ラジオ/新聞/雑誌 他
その内容は、陸上競技のスタートラインになぞらえることで表現している。

主人公:スタートラインは、みんな同じだと思ってた。
主人公:なんでわたしだけこんな後ろから…。頑張ってるのに、一生追いつけないのかな。わたしは、未来を選べないんですか。
ナレーション:家庭の経済格差が生み出す、子供の教育格差。そのせいで、未来を諦めるしかない子どもがいます。キッズドアは、無料の学習会やキャリア教育などの学習支援で、子どもたちが夢や希望を描ける社会を目指しています。

「生まれながらにスタートラインが他の子どもたちと異なり、周り以上に努力を強いられている」というリアルな現状をお伝えし、子どもたちに寄り添うキッズドアの活動への理解を深められればと企画された作品だ。所得格差が教育格差を生み、教育格差もまた所得格差を生み、負のスパイラルが子ども本人の努力だけでは解決することができない状況を作り出していることも事実だ。これらは社会全体の問題としてとらえるべきだとは思いますが、子どもが夢や希望を諦めないためにも、それぞれの家庭で出来ることを考えてみよう。

Vol. 189

知恵袋

生活

生活に
何かと役立つ
連載コラム

つぶやきがんちゃん



今月も
つぶやき
ます!

つぶやき
がんちゃん

齋藤 廣勝

(さいとう ひろかつ)

株式会社トータルライフサポート
代表取締役

- ・CFP®サーティファイドファイナンシャルプランナー
- ・1級ファイナンシャルプランニング技能士
- ・日本商工会議所 年金・退職金等認定講師
- ・住宅ローンアドバイザー

秋田県の進学状況

秋田県民の進学率は、伸びてはいるものの全国的にみても低いのが現状だ。文部科学省の『令和5年度学校基本調査』統計によると秋田県の大学進学率は45.7%で全国順位43位、全国平均の60.7%とは15ポイントの開きがあり、トップの京都(73%)からは27.3ポイントも開きがあることになる。大学進学だけで人生の価値観を評価するものではないが、先にも書いたように、進学を希望していても本人の意思とは別のところで、大学等への進学を断念しなければいけないとすれば、何かしらの実現方法を考えたいものだ。

教育費負担の現状

なんだかんだ言っても、進学に伴う家計への経済的な影響は少なくない。誰だって子どもの夢や希望は叶えたい思いは一緒ではあるが、当然に現実も見なければならぬ。最近の物価高騰のおり、大学授業料の値上げも相次いで発表され、頭の痛いところだ。一方では教育費の無償化も議論はされているものの、いつになる事やら…。私も、子どもは社会全体で育てるべきと考えるし、ACジャパンの「スタートライン」に

	大学等進学率	専門学校進学率	就職率
全国平均	60.7%	16.2%	14.2%
秋田県	45.7%	18.7%	27.0%

保険と暮らしの相談センター

家計の見直ししませんか?

近頃の物価高で様々なものの値段があがっている今こそ、家計を“総点検”してみませんか?
弊社では家計収支の点検・見直しアドバイス～収支計画(キャッシュフロー表)の作成までお手伝いしております。まずはお気軽にご相談を!

お気軽にご相談ください。

株式会社
total life support 募集代理店 **トータルライフサポート**

〒010-0916 秋田市泉北3丁目17-22
●営業時間/9:30~18:00(土・日・祝日は9:30~17:00)
●定休日/水曜日

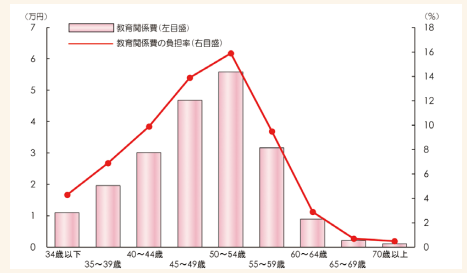
TEL 018-827-7611 詳細はホームページでもご覧いただけます。

FAX 018-827-7610

URL <https://tls-akita.co.jp>



あるように、世帯の状況に拘わらず同じ「スタートライン」に立たせたいものである…。



資料:総務省「家計調査年報(家計収支編)」
 (注)1.全国、二人以上世帯、年平均1か月の支出。2.教育機関は、教育費に給食費、制服、定期券代などを加えたもの。3.教育関係費の負担率は、消費支出に占める教育関係費の割合。

進路想定と教育費の見える化を

私のところにくる、教育資金をめぐっての相談の内容と時期は両極端だ。子どもが誕生し将来の進学資金を目的とした学資保険などの相談が最も多く、ついで大学進学目前での教育資金調達の相談で、その中間はほぼほぼない。本来であれば中長期的なプランニングが必要なのであるが、私も含めて尻に火がつかないとなかなか…。遅くとも進路が見え始めたから早めのプラン・準備が必要だが、その手始めとして、選んだ進路がどれだけの資金を必要とするのかを先ずは知らなければならぬ。様々な実態調査から教育費の現実を見てみよう。

大学進学が決定し、先ず直面するのが合格後に発生する初年度の納入金である。初年度の納入金

は、国公立の場合は理系や文系の違いはあっても大きな差はない。しかし、私立の場合は大きな違いが生じるので、自身の場合の該当箇所を、左の表(国公立大ほかの「初年度納入金(令和3年度)」)に照らして確認していただきたい。

	初年度納入金額	入学料	授業料	施設設備費
国立大学(奨励部)	817.8	282.0	535.8	-
私立大学(奨励部)	1,333.4	252.0	900.1	181.3
文系	1,165.3	231.8	781.0	152.5
理系	1,186.1	233.1	790.0	163.0
法・商・経	1,152.5	232.3	777.4	142.8
農・工	1,540.9	254.9	1,101.9	184.1
理・工	1,474.3	242.7	1,068.8	162.8
薬	2,082.5	341.5	1,435.2	305.8
農・獣・医	1,413.2	246.3	965.9	201.0
医	5,043.2	1,325.5	2,667.6	1,050.1
歯	4,289.2	563.4	3,167.0	558.8
その他	1,452.1	264.5	957.5	230.1
学費	1,253.1	255.7	806.7	190.7
学費	1,636.2	259.3	1,109.0	267.9
学費	1,294.2	258.3	814.9	221.0

大学の生活収支

ここでは大学生の生活がどのような形で維持されているかの実態を見てみよう。学校関連の費用は、国公立・私立とは大きく異なるものの、学校への納入金としては比較的把握しやすい。しかし、学生の一人暮らしの生活費ともなると、生活の形態が自宅・寮・下宿等(アパート)で大きく異なるし、分りにくい。これから見て進路を決めるわけではないだろうが、それぞれの進路によってどれだけの費用が掛かるかを見てみよう(表4参照)。

初年度の学校納入金に加え、入学後の生活費、そして自宅外で暮

【表4 大学生の生活収支の実態】

	自宅	学費		下宿等	
		国立	私立	国立	私立
収入					
家からの給付	627.9	1,030.1	746.6	1,440.6	1,177.0
奨学金	202.0	376.7	434.9	576.4	334.2
アルバイト	330.2	400.6	280.0	178.1	291.7
定額収入・その他	37.0	42.8	20.4	35.6	39.4
計	1,197.1	1,840.2	1,481.9	2,230.7	1,842.3
支出					
授業料	500.4	1,022.2	419.7	1,035.4	503.1
その他の学校納付金	11.3	146.2	14.4	177.6	8.0
修学費	46.0	44.2	45.6	49.4	49.8
課外活動費	45.5	30.1	48.8	61.5	52.3
進学費	98.4	100.1	10.8	16.6	10.0
小計(学費)	699.6	1,342.8	539.3	1,340.5	623.2
食費	105.5	102.2	203.4	231.8	285.4
住居・光熱費	-	-	232.2	340.7	492.9
学除衛生費	32.4	36.5	28.3	35.7	34.1
娯楽・雑費	122.9	135.7	128.5	111.2	141.1
その他の日常費	120.7	142.2	158.5	155.6	158.8
小計(生活費)	390.5	416.6	816.9	875.0	1,120.3
計	1,090.1	1,759.4	1,356.2	2,215.5	1,743.5

らす場合では引越し費用、アパートなどの敷金・礼金、家財道具の購入なども忘れてはならない。これらを踏まえ、①受験などの合格までかかる費用、②合格から入学までにかかる費用、③入学してから卒業までの費用を把握しておかなければならない。参考までに、私立の文系の4年制大学にかかる総費用を、私の独断で試算してみたので、参考にさせていただければ幸いです。(①24万9800円 ②215万7600円 ③951万8280円 合計1192万5680円)

これから、受験に始まり卒業までの4年間ほどにかかる費用総額は1200万円近くにも及ぶ。これがひとり分だから、2人3人ともなると…!

教育資金の調達プランを立てる資金の調達手段はそれぞれの家計環境で異なるものの、費用の

見える化が出来たら、次はその調達方法である。家計からの仕送りをはじめ、奨学金や教育ローン、教育資金贈与などの組み合わせでそれぞれの教育費プランを立てておくことが重要なのである。参考までに、1200万円の資金調達のサンプルを次表にまとめ

区分	資金合計	(月額収入)
一時収入		
自己資金	840,000	
教育資金贈与	520,000	
学資保険等	2,000,000	
教育ローン		
毎月収入		
家計からの仕送り可能額	2,880,000	(60,000)
奨学金	4,800,000	(100,000)
アルバイト	960,000	(20,000)
その他		
合計	12,000,000	(180,000)

この表を作成する手順は、確実なものから入れていくということだ。(確実なもの)例

- 自己資金(預貯金)
- 学資保険の満期金(200万円)
- 家庭からの仕送り可能額(〇万円×48ヵ月)
- 祖父母からの教育資金贈与(1500万円までは非課税)

(不足分)例

- 教育ローン(親が借りて親が返す)
- 本人のアルバイト収入(〇万円×48ヵ月)
- 奨学金申込(種類と借入額/月)
- 子どもの希望や夢を諦めないためにも、また、負のスパイラルにならないためにもFP(ファイナンシャルプランナー)などを利用したライフプランニングをお勧めする。